

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
(兵庫県民会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長
https://hyogo-arts.or.jp

SNS
やっています!

Facebook, Twitter, YouTube, Instagram icons and QR codes.

2023年
7月号
433号



題字：井茂圭洞 (書家・文化功労者)

ふれあい
文化の祭典

誰もが身近に芸術文化にふれ、音楽・舞踊・美術など日頃の文化活動を発表する場として、ふれあい文化の祭典を県内各地で開催します。多彩なイベントの中から、今回は参加募集している中から3件をご紹介します。

第35回全国手工芸コンクールinひょうご

ぬくもりある作品を募集

手工芸を愛する全国の方を対象に、手作りの作品を募集しています。
応募作品はすべて、兵庫県民会館2階の兵庫県民アートギャラリー大・中展示室に展示されます。優秀作品には、文部科学大臣賞、兵庫県知事賞などの特別賞が贈られます。
【出品料】1点2000円
【応募締切】10月10日(火)
【会期】11月24日(金)~26日(日)
【問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078・321・2002

年齢、性別に関わらず
応募いただけます!



昨年度の文部科学大臣賞受賞作品
柘植朝子さんの「マリー・アントワネット」

Table with 2 columns: 部門 (Department) and 作品分野 (Work Category). Categories include Paper Craft, Cloth Craft, Yarn Craft, Wood/Metal/Clay Craft, and Miscellaneous Craft.



昨年度の会場の様子

「兵庫短歌祭」作品を募集

【作品】未発表作品1人1首
【応募料】1000円 【締切】8月18日(金)当日消印有効
【応募方法】応募用紙またはA4の原稿用紙を半分に切ったものに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、作品一首を明記し、定額小為替で応募料を添えて郵送
【応募先】〒679-2161 姫路市香寺町溝口225-50 藤本則子方
【問い合わせ】兵庫県短歌祭実行委員会 ☎0790・85・0021/090・3650・2998



【兵庫短歌祭】11月11日(土)13時から(神戸市中央区文化センター 多目的ルーム) 入場無料◆入賞者表彰と講評
◆現代歌合わせ=「佳い歌をめぐってそのII」

「アンサンブル・フェスティバル兵庫2023」
出演者を募集

【部門】合唱部門・合奏部門
【参加資格および団体】県内外は問わない。音源審査で選出された15団体程度が出場。【参加費】無料 【締切】7月21日(金)当日消印有効
【応募方法】応募用紙に必要事項を記入の上、音源を添えて郵送。
【応募先・問い合わせ】アンサンブル・フェスティバル兵庫2023実行委員会(アートフォレスト内) 〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-12-19スクエア下山手501 ☎078・367・3560

【アンサンブル・フェスティバル兵庫2023】9月10日(日)15時開演(兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール) 入場無料(要整理券)



伝統
芸能講座「能楽の世界」(全2回) 受講生募集

県立芸術文化センター公演 ひょうご能「船弁慶」ほか鑑賞

県立芸術文化センターでの公演鑑賞と、能楽協会神戸支部の支部長で、観世流シテ方の上田拓司さんによる事前解説がセットになった全2回の伝統芸能講座の受講生を募集します。



第1回 事前学習
【日時】9月11日(月)14時~15時30分
【場所】夙川能舞台瓦照苑(西宮市相生町10-11)
【講師】上田拓司(夙川能舞台瓦照苑代表、能楽協会神戸支部支部長、能楽シテ方 観世流)
※事前学習では「船弁慶」のあらすじや見どころを伺うほか、実際に能舞台の上を歩いたり、能装束を間近でご覧いただいたりします。当日は白足袋をお持ちであればご持参ください(なくても受講可)

第2回 鑑賞会
【日時】9月24日(日)14時~
【場所】兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
【内容】〈第一部〉講演「能の魅力を語る」
笠谷和比古(国際日本文化研究センター名誉教授)
仕舞『松虫』『松風』『融』・狂言『賞智』
〈第二部〉能『船弁慶 重キ前後之替』(字幕付)
上田拓司、福王和幸、善竹隆司ほか



【受講料】(鑑賞チケット付き)一般5500円、友の会会員4500円
※鑑賞会のお席は選べません。鑑賞チケットは第1回の講座時に配付します。
【定員】40人 【申し込み・問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078・321・2002






公演	日程	場所	問い合わせ
ホールで! おんべび!!	令和5年11月28日(火)	西脇市立音楽ホール	☎0795-23-9000
	令和5年11月30日(木)	西宮市フレンテホール	☎0798-32-8660
桂吉弥独演会	令和5年8月27日(日)	山崎文化会館	☎0790-62-5300
	令和5年9月22日(金)	加東市地域交流センター	☎0795-42-7700 (加東文化振興財団)
こどもオペラ 「魔法使いの弟子」	令和5年9月9日(土)	加古川ウェルネスパーク	☎079-433-1100
	令和5年9月10日(日)	淡路市立しづかホール	☎0799-62-2001
神戸新開地・喜楽館 福崎/赤穂名人寄席	令和5年9月10日(日)	赤穂市文化会館	☎0791-43-5111
	令和5年9月17日(日)	福崎町エルデホール	☎0790-23-1655
大阪桐蔭高等学校吹奏楽部演奏会	令和5年12月9日(土)	太子町立文化会館	☎079-277-2300
	令和6年1月14日(日)	市川町文化センター	☎0790-26-0969

今年度も県内の市町の舞台公演5公演を支援します。バラエティーに富んだ舞台をぜひお楽しみください。チケット代など詳細は各施設にお問合せください。

## 市町ホール 活用支援事業



六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond  
2023.8.26-11.23 Mt.Rokko in Kobe

写真: 伊丹豪/ロゴマーク: 佐貴純郁/アートディレクション: 芝野健太 (株式会社ライブアートボックス)

今回は、六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyondを4面(右)紹介します。

- 六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond (神戸市灘区) 8月26日(土)~11月23日(木・祝)
- 下町芸術祭2023 (神戸市長田区) 11月3日(金・祝)~19日(日)
- たつのアート2023 (たつの市) 11月10日(金)~19日(日)
- 豊岡アートシーズン2023 (豊岡市) 3月31日(日)
- 第29回公募展 木彫フォークアートおや「ふるさとの命の姿」(養父市) 9月15日(金)~10月1日(日)
- あさご芸術の森アートフェスティバル 秋(朝来市) 10月21日(土)~11月19日(日)
- クラフトAndアート丹波篠山 2023「いらか(丹波篠山市) 9月16日(土)~10月9日(月・祝)
- IKUHARTプロジェクト2023地域連携事業「土と鉄、出合いの造形」展(淡路市) 11月3日(金・祝)~12月3日(日)



アートde元気  
ネットワーキングひょうご

アートの力でまちを盛り上げる芸術祭が、今年度も県内各地で開催される予定です。詳細を順次ご紹介していきます。お楽しみに。

## 催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

### 兵庫県民アートギャラリー ☎078-321-2131 ※入場無料

- 第56回 墨彩会展 (2階) 書約500点 ~7月2日(日)
- 第36回 書道玄耀展 (1・2階) 書約400点 7月8日(土)~7月10日(月)
- 障害者芸術作品巡回展 (2階) 絵画・書他約50点 7月11日(火)~7月14日(金)
- 兵庫県高等学校選抜書道展 (1階) 書約30点 7月12日(水)~7月15日(土)
- 第67回 泉龍書道展 (2階) 書約300点 7月15日(土)~7月16日(日)
- 私たちがって「いいふうふ」になりたい展 (2階) 写真他約50点 7月15日(土)~7月17日(月)
- 2023兵庫県平和美術展 (2階) 7月19日(水)~7月23日(日)
- 油彩・水彩・工芸・水墨画他約200点
- 若草天真書道展 (1階) 書約50点 7月21日(金)~7月23日(日)

### ひょうごアーティストサロン ☎078-321-2005 ※入場無料

- 兵庫県民会館ロビーコンサート (1階ロビー) 7月8日(土)14:00~14:30
- 東口雪菜ピアノコンサート 出演: 東口雪菜(ピアノ)
- 兵庫県写真作家協会新進作家選抜展 (1階サロン内) 7月1日(土)~7月31日(月)
- 兵庫県写真作家協会会員7人による作品7点 ※日・水・第2月はお休み

### 兵庫県立美術館 ☎078-262-1011

- 特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」 ~7月23日(日)
- 生誕140年を記念し、さまざまな視点から創作の軌跡をたどる展覧会
- ※入場料1600円ほか【友の会割引あり】

### 原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※入場無料

- 第37回玄心書道展 併催 公募展 (全館) 書約730点 ~7月2日(日)
- 第21回瀧仙会書法展(一般の部・学生の部)(全館) 書約2,300点 7月7日(金)~7月9日(日)
- 第44回神戸老眼大学会写真部展 (東館1階) 写真約50点 7月11日(火)~7月16日(日)
- 神戸新聞文化センター神戸3会場合同作品教室展 (本館2階) 書・洋画・日本画・水墨画・総合約1,200点 7月12日(水)~7月16日(日)
- ゆめのはこ 2023 (東館2階) 7月13日(木)~7月16日(日)
- ビニールインスタレーション・児童画約2,000点
- 第27回ボジャギ作品展 李玉禮と仲間達 (本館1階) 7月14日(金)~7月16日(日)
- ボジャギ・小物約300点
- 兵庫県美育作家協会展 (本館1階) 洋画・工芸・彫塑約100点 7月17日(月)祝~7月23日(日)
- ※7月18日(火)休館
- 原田ゆみ絵画展「fliegen(飛ぶ)」(東館2階) 抽象画約40点 7月17日(月)祝~7月23日(日)
- ※7月18日(火)休館
- ひまわり書道教室作品展「日本の美」(東館1階) 書約200点 7月21日(金)~7月23日(日)
- 2023 兵庫独立展 (本館1階) 洋画約40点 7月25日(火)~7月30日(日)
- 2023 兵庫県彫刻家連盟展 (東館1・2階) 彫塑・立体約30点 7月25日(火)~7月30日(日)
- かがやき神戸 ひだまりレインボー展覧会 (障害者アートギャラリー) 7月1日(土)~9月29日(金)
- 書・絵画・絵手紙・立体約20点

### 横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607

- 特別展「横尾忠則 原郷の森」 ~8月27日(日)
- 小説『原郷の森』を軸に、横尾の言葉と絵が織りなす展覧会
- ※入場料700円ほか【友の会割引あり】

### 兵庫陶芸美術館 ☎079-597-3961

- 特別展「デミタスカップの愉しみ」 ~8月27日(日)
- 2000点を超える村上和美氏のコレクションの中から、19~20世紀に欧州の名窯が生み出した珠玉の作品を中心に約380点をご紹介します
- ※入場料1200円ほか【友の会割引あり】
- 🎁 5組10人にチケットプレゼント。締切7月12日(水)必着

### プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。  
\*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
\*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会にて厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



# ピッコロシアター

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940



<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証) アクセス▶■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分 ■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分

## 兵庫県立ピッコロ劇団第76回公演 「やわらかい服を着て」

日本を代表する劇作家・永井愛の2006年初演作を今、新たに紡ぎ出します。

2003年、世界で連鎖した反戦デモの翌朝に物語は始まる。NGOで活動する若者たちの志と現実。憧れと妬みと恋とが切迫する3年間の濃密な群像劇。

【作】永井愛

【演出】眞山直則(ピッコロ劇団)

【日時】7月21日(金)17時★、22日(土)11時★/16時30分、23日(日)11時/16時30分☆、25日(火)13時 ★…日本語字幕付き ☆…終演後、作家・演出家によるアフタートークあり

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】一般3500円 大学・専門学校生2500円 高校生以下2000円

【出演】原竹志、櫻村千晶、今井佐知子、菅原ゆうき、谷口遼、三坂賢二郎、中島深志、木村美憂、鈴木あぐり、森好文



原竹志



櫻村千晶

## ピッコロ寄席 桂枝雀一門 「南光・雀三郎・文之助 三人会」

希代の爆笑王：桂枝雀の名を遺す会として毎年開催。今年は、枝雀直弟子筆頭からの3名が揃う充実の「三人会」。雀三郎の2番弟子：雀五郎と、南光の孫弟子：天吾が、師匠方を支えます。枝雀一門ならではの味と、各人各様の魅力が重なり光る会にどうぞご期待ください。

【日時】8月12日(土)14時 【会場】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】全席指定 一般3000円 高校生以下1500円

【出演・演目】「佐野山」桂南光、「三十石」桂雀三郎、「包丁間男」桂文之助、桂雀五郎、桂天吾



南光

雀三郎

文之助

## ピッコロ実技教室 ちゅっと！狂言～入門編～

2日間・8時間で狂言の基礎知識から簡単な実技までを「観て、聴いて、演じて」楽しめる！

【日時】8月19日(土)13時～16時、8月20日(日)11時～16時 ※2日間の連続講座

【会場】ピッコロシアター 大ホール 【講師】能楽師 大蔵流狂言方 善竹隆司

【定員】要申込 先着30名(小学生以上)

【受講料】一般3000円 高校生以下2000円



# 兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結) ■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第143回定期演奏会

今シーズン最後のPACオーケストラ定期演奏会は佐渡裕芸術監督が登場！佐渡芸術監督がこよなく愛する作曲家ブリテンのオペラの楽曲とブラームスの交響曲に加え、ベルリン・フィルの奏者からもその才能を絶賛される若きヴィオラ奏者・谷口朱佳を迎えてのヒンデミットは必聴です！

【出演】指揮・芸術監督/佐渡裕、ヴィオラ/谷口朱佳

【曲目】ブリテン/歌劇「ピーター・グライムズ」より「4つの海の間奏曲」、ヒンデミット/室内音楽 第5番、ブラームス/交響曲 第2番

【日時】8月4日(金)、5日(土)、6日(日)、各日15時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席4000円、B席3000円、C席2000円、D席1000円



佐渡裕



谷口朱佳

## 桂吉弥 独演会

夏恒例の人気公演！ほがらかな中にも歯切れよく勢いのある語り口が魅力の吉弥落語を三席たっぷりお楽しみください。

【出演】桂吉弥、桂紅雀、桂弥香

【日時】8月6日(日)14時

【場所】阪急 中ホール(芸術文化センター)

【入場料】全席指定4000円



桂吉弥

## ミュージカル「カラフル」

直木賞作家・森絵都によるベストセラー小説「カラフル」がミュージカルに！死んだはずの“ぼく”(鈴木福)が天使(川平慈英)に導かれ人生を再挑戦する、ファンタジーでありながら人々の心に響く感動物語。“モノクロだった世界をカラフルに変える”ミュージカルの「魔法」をお届けします。大人も子どもも楽しめるミュージカル、この夏ぜひご家族でご来場ください！

【原作】森 絵都「カラフル」(文春文庫刊) 【脚本・作詞・演出】小林 香

【出演】鈴木福、加藤梨里香、百名ヒロキ、石橋陽彩、菊池和澄、彩乃かなみ、川久保拓司/川平慈英 ほか

【日時】8月12日(土)、13日(日)各日13時

【場所】阪急 中ホール(芸術文化センター)

【入場料】おとな5000円、こども(小学生～18歳)2500円



鈴木福

川平慈英

(宣伝写真：間仲 宇)

チケットを

購入されるお客様へ

※未就学児童はご入場いただけません。  
※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。  
※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

— 挑戦から展開へ —

# 第36回 書道 玄燿展

会期 令和5年7月8日(土)～7月10日(月)  
午前10時～午後5時まで  
(但し、最終日は午後4時まで)

※役員・会員・公募の作品を同時に陳列します

会場 兵庫県民アートギャラリー  
兵庫県民会館 1・2階

主催 玄燿書道会 展覧会事務局 〒671-1131 姫路市大津区天神町1-45-9  
☎(079)239-9090

後援  
兵庫県・兵庫県議会  
兵庫県教育委員会  
(公財)兵庫県芸術文化協会  
(公財)神戸市民文化振興財団  
神戸新聞社  
読売新聞神戸総局  
サンテレビジョン  
(公社)全日本書道連盟  
(公社)日本書芸院  
兵庫県書作家協会

# 第21回 滴仙会書法展

一般の部 学生の部

【特別企画】

珍寿記念「西本茜堂書作展」—《Final》First Take—

会期 令和5年7月7日(金)～9日(日) 午前10時～午後5時  
(最終日は午後4時まで)

会場 兵庫県立美術館 王子分館 原田の森ギャラリー

主催 書道研究 滴仙会 理事長 伊藤一翔

後援 大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市、宮古島市、大阪府議会、兵庫県議会  
神戸市会、兵庫県教育委員会、大阪市教育委員会、神戸市教育委員会  
宮古島市教育委員会、(公財)兵庫県芸術文化協会  
読売新聞神戸総局、神戸新聞社、サンテレビジョン、兵庫県書作家協会

滴仙会 〒650-0024 神戸市中央区海岸通8 神港ビルディング624 ☎078-391-5018  
<https://tekisenkai.com>





昨年の公募グランプリ作品  
二ノ宮久里那《Transience》2022年

**読者プレゼント**  
鑑賞パスポートを4組8人に。応募方法は本紙2面。7月12日(水)必着。

# 六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond

8月26日～11月23日 今年も六甲山上で

2面でご紹介した、アートの元気ネットワークひろこの一つ、神戸の六甲山上で繰り広げられる現代アートの芸術祭、六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond が今年も開催されます。

自然に囲まれたレジャーと観光の場を舞台に繰り広げられる芸術祭で、公募や招待されたアーティストらの作品を鑑賞できる貴重な機会です。これまで総勢約470組以上におよぶアーティストが参加。夜間鑑賞作品とライトアップを満喫できるイベントも、お楽しみただけです。

【日程】8月26日(土)～11月23日(木・祝)▽夜間イベント「ひかりの森」夜の芸術散歩～9月23日(土・祝)～11月23日(木・祝)

【場所】六甲山上施設

【入場料】有料(2次元コード参照)

【問い合わせ】六甲ミーツ・アート芸術散歩事務局 ☎078・00489

詳細はこちら



## 宝塚文化創造館 (宝塚音楽学校旧校舎) 宝塚歌劇の活動を支えた文化財的建物 歴代公演ポスター、新旧制服など展示



宝塚文化創造館の外観

宝塚大劇場の東側、国道176号に面して、新緑のツタが壁を覆う古い建物(1935(昭和10)年建築)があります。宝塚音楽学校の旧校舎で、新校舎が落成する1998(平成10)年まで、多くの卒業生を送り出してきました。2011年からは宝塚市立の宝塚文化創造館としてグランドオープンし、文化施設として活用されています。公益財団法人宝塚市文化財団が運営しています。

宝塚歌劇は1913(大正2)年に「宝塚唱歌隊」が発足してから110年の歴史を刻んできました。舞台を彩ったタカラジェンヌたちの学び舎は3階建てのモダニズム様式の建物です。現在は、1階に講堂、2階にすみれミュージアム、3階にはバレエと日本舞踊のレッスンルームがあります。1階と3階のスペースは劇場と貸しスタジオとして個人や団体の練習、様々な文化活動に利用されています。利用中でなければ、中を見学することができます。

1階から2階、3階へ上がる階段が左右に2つあります。音楽学校の校舎として使用されていた時には、右側(上手)は先生とお客様用、左側(下手)は生徒用でした。階段の踏板部分にはその痕跡が残っており、急ぎ足で上り下りする生徒たちの姿が想像できます。



過去(左)と現在の生徒の制服

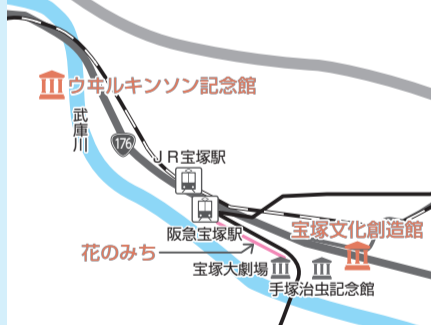
©宝塚歌劇団

2階の「すみれミュージアム」の最初のコーナーでは入学から卒業までの学校生活を紹介しています。過去と現在の制服の展示、合格発表、入学式、授業風景、文化祭、卒業の写真や動画、カリキュラム一覧など。歴代の卒業写真からスターを見つけられるでしょうか。

次のコーナーからは草創期の大正時代から現在までの公演ポスター約880点が紹介されています。ぎっしり並んだ壁面の展示は壮観です。検索して電子表示できるディスプレイがあるのも便利です。作風の変化や広告の移り変わり、歌劇史の変遷を学べ、自分が観劇したポスターを探すのも楽しいでしょう。

最後のコーナーにあるミニシアターでは、120分のスクリーンで歌劇に関する作品が上映されています。平日には上映作品をリクエストできます。また、今年度の企画展「宝塚音楽学校物語」として、劇団創設者小林一三氏の「清く正しく美しく」のパネルや鼓笛隊写真などが展示されています。

宝塚といえば、明治22年頃英国人のジョン・クリフォード・ウィルキンソンが



ウチルキンソン記念館の外観

宝塚で天然炭酸泉源に遭遇し、瓶詰め販売を始めた「ウィルキンソン タンサン」発祥の地でも知られています。1990年に閉鎖された工場跡地に「ウチルキンソン記念館(西宮市)」があり、工場のジオラマなどの資料を見学できます。

**お出かけちょっとメモ**

▶宝塚文化創造館=宝塚市武庫川町6-12。2階展示室「すみれミュージアム」の入場時間は10時～16時半(受付は16時まで)。水曜休館。入場料は一般300円(200円)、中高生200円、小学生100円。( )内は当協会友の会会員料金。阪急・JR宝塚駅から「花のみち」～手塚治虫記念館を過ぎ、花のみち・さくら橋公園すぐ(徒歩15分)。☎0797-87-1136

▶ウチルキンソン記念館=西宮市宝生ケ丘1-24-11。開館時間は平日9時～16時(12～13時は閉館)、土曜9時～12時。日祝は休館。無料。観覧は自由。ガイド等案内が必要な場合はメール(2次元コード)で事前予約。阪急・JR宝塚駅から生瀬方面へ徒歩20分。JR生瀬駅から宝塚方面へ徒歩15分。

**読者プレゼント**  
宝塚文化創造館「すみれミュージアム」の無料入場券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。7月12日(水)必着。

兵庫 テロワール 旅 TERROIR JOURNEY

私の感動、その先へ

QRコード

Our Field, Our SDGs



## 食虫植物特別展示

●食虫植物特別展示 7/22 ～ 8/29  
～ 100種類 1,000株～

- フラワーセンターに咲く花写真展 ～春夏秋冬 7/8～7/21
- 植物スケッチ教室【要予約】 7/9 (10:00～)
- 食虫植物教室【要予約】 7/23・7/30(各日13:30～)
- フラワーセンター野鳥写真展  
色・鳥・撮-IroToriDori- 8/5～9/5
- アキメネス展 8/20～10/3

園内には、**古代鏡展示館** もあります。

TEL (0790) 47-2212



公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会  
兵庫県立 **フラワーセンター**

〒679-0187 兵庫県加西市豊倉町飯森 1282-1  
TEL (0790) 47-1182 FAX (0790) 47-1561

兵庫フラワーセンター 検索